



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月31日

上場会社名 株式会社椿本チエイン 上場取引所 東
 コード番号 6371 URL <https://www.tsubakimoto.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 隆利
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 西田 努 (TEL) 06-6441-0054
 四半期報告書提出予定日 2022年11月7日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	118,933	16.0	8,375	2.3	9,889	8.0	6,756	2.0
2022年3月期第2四半期	102,518	15.9	8,185	169.0	9,156	129.9	6,624	114.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 19,620百万円(81.2%) 2022年3月期第2四半期 10,828百万円(366.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	182.49	—
2022年3月期第2四半期	178.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	347,722	226,784	64.6
2022年3月期	332,620	209,757	62.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 224,495百万円 2022年3月期 207,756百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	70.00	120.00
2023年3月期	—	60.00			
2023年3月期(予想)			—	70.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	11.2	20,000	12.1	20,600	2.8	14,900	2.5	402.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期2Q	38,281,393株	2022年3月期	38,281,393株
2023年3月期2Q	1,248,184株	2022年3月期	1,263,127株
2023年3月期2Q	37,025,582株	2022年3月期2Q	37,016,976株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の当社グループを取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替の変動などにより、予想数値と異なる場合があります。また、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～9月30日)における世界経済は、ロシア、ウクライナ情勢の長期化による原材料・エネルギー価格の高騰や部品不足、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う中国主要都市のロックダウンによるサプライチェーンの混乱など、不透明な状況で推移しました。

わが国経済も、ウィズコロナに向け経済社会活動の正常化が進む一方、部品不足の長期化や原材料・エネルギー価格の高騰、急激な円安の進行に伴う物価の上昇などにより、景気の下振れ圧力が高まりました。

このような状況のもと、当社グループにおいても部品不足や原材料価格高騰、中国主要都市のロックダウンによる影響を受けましたが、チェーン事業の販売が好調であったことや円安などにより、当第2四半期連結累計期間の受注高は1,298億36百万円(前年同期比14.7%増)、売上高は1,189億33百万円(同16.0%増)となりました。

損益につきましては、営業利益は83億75百万円(同2.3%増)、経常利益は98億89百万円(同8.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は67億56百万円(同2.0%増)となりました。

当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めるとともに、「長期ビジョン2030」に掲げた「2030年のありたい姿」の実現に向けて、「Linked Automation テクノロジー」により、社会課題解決への貢献を目指しております。

また、2021年度よりスタートさせた「中期経営計画2025」の達成に向けて、既存事業での収益力強化と持続的成長につながる新事業開発に注力しております。

(Linked Automation テクノロジー：高機能化と高度オートメーション化された技術領域)

セグメント別の概況は次のとおりであります。

[チェーン]

チェーンにつきましては、日本、米州、欧州、環インド洋において販売が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

以上により、チェーンの受注高は467億76百万円(前年同期比17.1%増)、売上高は426億59百万円(同23.9%増)、営業利益は62億85百万円(同22.2%増)となりました。

[モーションコントロール]

モーションコントロールにつきましては、日本、米州、欧州、環インド洋において販売が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

以上により、モーションコントロールの受注高は125億25百万円(前年同期比9.7%増)、売上高は106億8百万円(同13.8%増)、営業利益は7億45百万円(同74.5%増)となりました。

[モビリティ]

モビリティにつきましては、日本における自動車エンジン用タイミングチェーンシステムなどの販売が減少しましたが、米州、欧州、韓国などの拠点において同商品の販売が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

以上により、モビリティの受注高は368億23百万円(前年同期比13.2%増)、売上高は364億28百万円(同12.4%増)となりましたが、エネルギーや原材料価格の高騰などにより営業利益は23億75百万円(同34.9%減)となりました。

[マテハン]

マテハンにつきましては、日本国内における物流業界向けシステムや米州における自動車業界向けシステムの売上が減少しましたが、日本国内および米州、欧州における金属切り屑搬送・クーラント処理装置の売上が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

以上により、マテハンの受注高は323億62百万円（前年同期比15.4%増）、売上高は280億57百万円（同10.9%増）となりました。損益につきましては、経費削減や原価低減、米州における追加工事完了に伴う費用の減少などにより74百万円の営業損失(前年同期は2億21百万円の営業損失)にとどまりました。

[その他]

その他の受注高は13億47百万円（前年同期比7.0%増）、売上高は11億79百万円（同13.2%増）、損益につきましては2億65百万円の営業損失(前年同期は2億22百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して151億2百万円増加し、3,477億22百万円となりました。

流動資産は、有価証券が16億59百万円減少した一方で、仕掛品の増加などにより棚卸資産が83億6百万円増加したこと、受取手形、売掛金及び契約資産が56億59百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して118億27百万円増加し、1,783億40百万円となりました。

固定資産は、保有株式の時価下落などにより投資有価証券が35億76百万円減少した一方で、生産設備への投資等により有形固定資産が39億62百万円増加したこと、連結子会社であるU.S. TSUBAKI HOLDINGS, INC. によるATR Sales, Inc. の全持分取得等によりのれんが17億13百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して32億74百万円増加し、1,693億82百万円となりました。

(負債)

負債は、未払費用の増加などによりその他の流動負債が21億55百万円増加した一方で、借入金が28億91百万円減少したこと、未払法人税等が12億64百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して19億25百万円減少し、1,209億38百万円となりました。

(純資産)

純資産は、為替の変動により為替換算調整勘定が145億20百万円増加したこと、利益剰余金が41億58百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して170億27百万円増加の2,267億84百万円となり、自己資本比率は64.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して21億68百万円減少し、507億20百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は60億56百万円(前年同期は106億32百万円の増加)となりました。これは、棚卸資産が36億76百万円増加した一方で、税金等調整前四半期純利益を96億99百万円計上したこと、減価償却費を65億75百万円計上したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は50億61百万円(前年同期は34億87百万円の減少)となりました。これは、定期預金の払戻による4億78百万円の収入があった一方で、固定資産の取得のために41億39百万円支出したこと、ATR Sales, Inc.の持分取得のために16億62百万円支出したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は63億20百万円(前年同期は25億28百万円の減少)となりました。これは、借入金返済のため33億86百万円支出したこと、配当金の支払いのため26億41百万円支出したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点では、2022年5月11日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,104	48,832
受取手形、売掛金及び契約資産	45,773	51,433
電子記録債権	13,358	12,113
有価証券	6,339	4,680
商品及び製品	22,357	24,844
仕掛品	14,250	17,309
原材料及び貯蔵品	12,400	15,161
その他	3,620	4,735
貸倒引当金	△692	△769
流動資産合計	166,512	178,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,887	33,413
機械装置及び運搬具（純額）	37,341	38,389
工具、器具及び備品（純額）	3,775	3,914
土地	37,694	37,874
建設仮勘定	4,220	5,289
有形固定資産合計	114,918	118,881
無形固定資産		
のれん	2,496	4,210
その他	8,204	8,998
無形固定資産合計	10,700	13,208
投資その他の資産		
投資有価証券	32,245	28,668
退職給付に係る資産	42	60
その他	8,307	8,665
貸倒引当金	△107	△102
投資その他の資産合計	40,488	37,292
固定資産合計	166,107	169,382
資産合計	332,620	347,722

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,610	19,258
電子記録債務	9,762	9,615
短期借入金	8,591	9,909
1年内返済予定の長期借入金	4,551	484
未払法人税等	3,152	1,887
賞与引当金	5,164	4,425
工事損失引当金	85	83
受注損失引当金	11	—
株主優待引当金	43	2
営業外電子記録債務	1,286	1,251
その他	16,577	18,733
流動負債合計	67,839	65,653
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	9,727	9,585
役員退職慰労引当金	140	141
退職給付に係る負債	14,196	14,666
資産除去債務	441	448
その他	15,517	15,443
固定負債合計	55,023	55,284
負債合計	122,863	120,938
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	13,569	13,573
利益剰余金	165,878	170,036
自己株式	△4,220	△4,169
株主資本合計	192,304	196,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,716	12,662
繰延ヘッジ損益	△75	△52
土地再評価差額金	△10,614	△10,614
為替換算調整勘定	11,622	26,143
退職給付に係る調整累計額	△196	△160
その他の包括利益累計額合計	15,452	27,978
非支配株主持分	2,000	2,288
純資産合計	209,757	226,784
負債純資産合計	332,620	347,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	102,518	118,933
売上原価	72,756	85,306
売上総利益	29,762	33,626
販売費及び一般管理費	21,577	25,251
営業利益	8,185	8,375
営業外収益		
受取利息	66	129
受取配当金	587	720
為替差益	158	525
その他	724	579
営業外収益合計	1,537	1,955
営業外費用		
支払利息	131	149
デリバティブ評価損	—	90
その他	434	200
営業外費用合計	566	440
経常利益	9,156	9,889
特別利益		
関係会社清算益	4	14
投資有価証券売却益	12	6
特別利益合計	17	21
特別損失		
投資有価証券評価損	—	211
関係会社出資金評価損	68	—
特別損失合計	68	211
税金等調整前四半期純利益	9,104	9,699
法人税、住民税及び事業税	2,558	2,828
法人税等調整額	△127	45
法人税等合計	2,431	2,873
四半期純利益	6,673	6,825
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	68
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,624	6,756

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	6,673	6,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,425	△2,053
繰延ヘッジ損益	64	22
為替換算調整勘定	2,587	14,733
退職給付に係る調整額	49	36
持分法適用会社に対する持分相当額	28	56
その他の包括利益合計	4,155	12,795
四半期包括利益	10,828	19,620
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,636	19,282
非支配株主に係る四半期包括利益	192	338

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,104	9,699
減価償却費	6,268	6,575
のれん償却額	136	202
固定資産除売却損益 (△は益)	178	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	1	211
関係会社株式評価損	—	60
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△6
関係会社出資金評価損	68	—
関係会社清算損益 (△は益)	△4	△14
雇用調整助成金	△16	△3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	89	△26
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	293	324
売上債権の増減額 (△は増加)	1,756	△34
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,108	△3,676
仕入債務の増減額 (△は減少)	563	△2,161
その他	△1,719	△1,534
小計	11,611	9,615
利息及び配当金の受取額	713	917
利息の支払額	△139	△164
雇用調整助成金の受取額	16	3
法人税等の支払額	△1,569	△4,315
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,632	6,056
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△108	△398
定期預金の払戻による収入	466	478
投資有価証券の取得による支出	△7	△13
投資有価証券の売却による収入	—	382
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,662
関係会社株式の取得による支出	△238	—
関係会社の清算による収入	54	109
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	0	0
長期貸付けによる支出	△11	△5
長期貸付金の回収による収入	10	9
固定資産の取得による支出	△3,707	△4,139
固定資産の売却による収入	53	176
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,487	△5,061

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△162	901
長期借入金の返済による支出	△392	△4,288
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△244	△288
割賦債務の返済による支出	△3	△2
配当金の支払額	△1,665	△2,591
非支配株主への配当金の支払額	△56	△49
自己株式の取得による支出	△3	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,528	△6,320
現金及び現金同等物に係る換算差額	651	3,157
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,267	△2,168
現金及び現金同等物の期首残高	46,084	52,888
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,352	50,720

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	モーション コント ロール	モビリ ティ	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	34,428	9,321	32,419	25,306	101,476	1,042	102,518	—	102,518
セグメント間の内部 売上高又は振替高	919	217	0	28	1,166	296	1,462	△1,462	—
計	35,348	9,539	32,420	25,334	102,642	1,338	103,981	△1,462	102,518
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	5,142	426	3,648	△221	8,996	△222	8,773	△588	8,185

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業、新規事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△588百万円には、セグメント間取引消去24百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△612百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	モーション コント ロール	モビリ ティ	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	42,659	10,608	36,428	28,057	117,753	1,179	118,933	—	118,933
セグメント間の内部 売上高又は振替高	950	278	1	8	1,238	298	1,536	△1,536	—
計	43,609	10,886	36,429	28,066	118,992	1,477	120,470	△1,536	118,933
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	6,285	745	2,375	△74	9,330	△265	9,065	△690	8,375

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業、新規事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△690百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△697百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。